



CONTENTS

・図書館長からのメッセージ	1
・学外からデータベースを利用できます	2
・桜塙寺内文庫 開庫100周年をめぐる催し	3
・企画展示のご紹介	3
・「2022 YPU Library Calendar」用フォトコンテスト開催中のお知らせ	4
・開館カレンダー（2021年度後期）	4
・編集後記	4

図書館長からのメッセージ

資料・情報との多彩な出会いの場の創出

図書館長 安光裕子



4月1日に新図書館がグランドオープンして、早6か月が経過しました。

図書館は、電子ジャーナルやデータベース、電子書籍の導入により、利用者が学習や教育研究に必要な資料・情報を容易に入手することができる場として徐々に整備されてきました。また、何かを探すわけでもなく館内を歩いていると、予期せぬ資料・情報との出会いの場になるような工夫もしています。

今年度は特に展示に力を入れています。桜塙寺内文庫や郷土文学資料センター所蔵資料の定例展示に加えて、新しい試みを行っています。例えばおすすめ本の展示です。これは、新入生にも馴染みのある学長、副学長、各学部・学科・研究科・別科・図書館の長16名によるコメント付きおすすめ本の展示です。学生からは、「普段読むことのない本を手に取るきっかけとなった」、「1年生にとっては、この展示はとても有用、オススメされた本から読み進めたい」などの声があり、実際おすすめ本が何人の学生に借り出されていることからも、この展示が本（著者）との思わぬ出会いの場となったといえましょう。

もうひとつの新しい試みは、同じ大学にいながらあまりよく知らない他学科等を知る場となるべく、学科等による活動内容の展示を月替わりで行うものです。栄養学科に続き、10月に社会福祉学科、11月に看護学科の展示を行いますので、楽しみにしてください。

9月30日からは、コロナ禍にも対応するため、EZproxyを導入して、学外からでも電子ジャーナルやデータベース、電子書籍にアクセスできるようになりました。ますます資料・情報との多彩な出会いの場として整備されていく図書館にご期待ください。

学外からデータベースを利用できます

EZproxy（イージープロキシ）の導入により学外から時間や場所の制約を受けずに、本学図書館が契約を行っている下記の電子リソース（データベース・電子ジャーナル・電子ブック）を利用することができます。自宅等での学習・研究にぜひご活用ください。

【利用方法】

1 学内（学内ネットワークを利用）

①図書館ホームページの電子リソース名をクリックしてください。

2 学外

①図書館ホームページの電子リソース名をクリックしてください。

②認証画面（右図）でIDとパスワードを入力してください。

※ID/パスワード…学生：YPU PortalのID、パスワードと同じです。

教職員：大学ホームページの学内専用ページのID、パスワードと同じです。

ユーザーID およびパスワードを入力してください

ユーザーID:

パスワード:

他のサイトにログインする前に警告を出す。

ログイン クリア

【利用できる電子リソース】

1 データベース

- ・YPU Search（統合検索 Summon）
- ・蔵書IIビジュアル（同時アクセス1）
- ・ヨミダス歴史館（同時アクセス2）
- ・CINAHL（同時アクセス4）
- ・ジャパンナレッジLib（同時アクセス1）

2 電子ジャーナル

- ・メディカルオンライン
- ・ProQuest
- ・JSTOR
- ・JournalWebなど

3 電子ブック

- ・Maruzen eBook Library
- ・メディカルオンライン

イーブックスライプラリー

電子リソース一覧→

QRコード↓



データベースや電子ジャーナルで探す

1. データベース（論文・記事）

電子リソース名	説明	学外から利用する場合のログイン要否
YPU Search (統合検索 Summon)	本学で契約しているデータベースや電子ジャーナル、インターネットで公開されている論文などの文献情報をまとめて検索できます。	必要
蔵書IIビジュアル	(同時アクセス1) 1879年（明治12年）の朝日新聞創刊号から今日までの140年間の紙面から記事・広告約1,500万件が検索できる国内最大級の記事データベースです。また、逐刊朝日、AERAも収録しています。人物データベースや歴史写真アーカイブ、アサヒグラフ、英文ニュース、現代用語事典「知育園」も検索できます。	必要
ヨミダス歴史館	(同時アクセス2) 1874年（明治7年）の創刊号から最新号（前日付）までの読売新聞記事1,400万本以上が検索できます。また、1989年9月からの「The Japan News」(英字新聞)や「現代人名録」も検索できます。	必要
メディカルオンライン	日本国内の学会・出版社発行の雑誌に掲載された医学、看護学、医療技術、栄養学、衛生、保健などのあらゆる医学専門分野の「医学文献」から検索し、文献をそのまま全文閲覧、ダウンロードすることができます。（一部を除く）	必要
CINAHL	(同時アクセス4) 3,000誌以上の看護学、また健康生産に関する雑誌論文の抄録情報を、最も古いものでは1981年から収録した看護系の叢書となるデータベースです。医学・看護学系の文献を検索できます。	必要
医学Web	(学内のみ 同時アクセス4) 特定非営利活動法人 医学中央雑誌刊行会が作成・提供する国内医学論文情報のインターネット検索サービスです。国内発行の、医学・薬学・歯学及び関連分野の定期刊行物、のべ約7,000誌から収録した約1,300万件の論文情報を検索できます。	学外アクセス不可 (学外のみ)
CINII Articles	学協会刊行物・大学研究紀要・国際学会回書類の雑誌記事索引データベースなど、学術論文情報を検索できます。	○
Google Scholar	多岐にわたる分野と出典の論説、論文、書籍、要約、法庫関係資料など、さまざまな学術文献を簡単に検索できます。	○
KAKEN 科学研究費助成事業データベース	文部科学省及び日本学術振興会が交付する科学研究費助成事業により行われた研究の当初採択時のデータ（採択課題）、研究成果の概要（研究業績報告書、研究成果概要）、研究成果報告書及び自己評価報告書を収録したデータベースです。	○
IRDB	日本国内の学術機関リポジトリに蓄積されたコンテンツのメタデータを収集し、提供するデータベースです。	○

【注意点】

- ・医中誌Webは学外から利用できないため、学内でご利用ください。
- ・同時アクセス数に制限がある蔵書IIビジュアル、ヨミダス歴史館、CINAHL、ジャパンナレッジLibは利用終了時に必ずログアウトをしてください。

桜園寺内文庫 開庫100周年をめぐる催し

国際文化学部文化創造学科 准教授 渡辺滋

桜園寺内文庫は、朝鮮総督・首相などを歴任した寺内正毅（1852～1919）によって構想された私設文庫です。生前には完成せず、彼の死後1922年2月5日、息子寿一の代に開庫されましたので、本年度は開庫100周年に当たります。

この図書館は、当初、正毅の郷里である宮野で、郷土の人びとの教育に資する役割を担っていましたが、1946年に山口県立女子専門学校の、つづく1950年には山口女子短期大学の附属図書館とされました。現在では、これらの後進に当たる山口県立大学の図書館内で存続しています。

文庫の蔵書は、寺内家の文庫を基礎として開設された当時、洋装本1万冊、古典籍1万冊にのぼっていましたが、その後も購入や寄贈などによって蔵書を増していきます。おもな収蔵品には、古代東アジア史上の最重要史料の1つ「広開土王碑拓本」（2種）をはじめ、日本・朝鮮・中国の古文書・古版本・古写本などがあります。くわえて、近年寄贈された寺内正毅関係の文書・書簡類も注目されます（これらは、デジタル化のうえ、大学ホームページ（<https://www.yamaguchi-pu.ac.jp/li/>）から一般公開される予定です）。

さて開庫100周年を記念して、本学では2つの催しを企画しています。

1つは、「山口県大学ML連携特別展『寺内正毅と桜園寺内文庫—設立100周年を迎えて—』」（展示期間：11月1日（月）～12月23日（木））です。最新の研究成果に基づき、文庫設立までの寺内の活動を示す史料や、文庫に納められた経緯が判明する典籍の紹介、あるいは、かつて本館の脇に立っていた「朝鮮館」の関連資料などを、本学図書館にて展示します。

もう一つは、寺内の命日に開催する「桜園寺内文庫と山口県立大学」（開催日時：11月3日（水・文化の日））です。当日は、寺内文庫に詳しい本学名誉教授の方々に加え、寺内文庫研究の権威である伊藤幸司氏（九州大学）なども学外からお迎えし、シンポジウムを本学で開催します。ご興味おありの方は、ふるってご参加ください。



企画展示のご紹介

図書館の企画展示をするにあたって、コロナ禍において学生と教職員に向けてどのような企画で資料収集をし、展示をするのかを考えました。コロナ禍のため、オンラインにより授業が行われ、自宅で過ごす時間が増えました。そこでおもしろい企画により本を読むきっかけ作りができればと思いました。

まず10月のテーマの「笑わせます！」は、本を読んで笑うことにより心も身体も健康を保つことができると考えました。

次に12月のテーマの「心の掃除も図書館におまかせください」は、年末の掃除とともに、本を読むことで心も浄化されることを知っていただく機会になることを願います。図書館には様々な悩みを解決してくれる本たちが、手に取っていただくのを今か今かと待っています。あなたと本との運命的な出会いがあることを期待しています。

1月の「図書館員からのおすすめ本」は、本が大好きな図書館の職員が各自読んだ本の中で、ぜひおすすめしたい本を厳選してコメントを付けて紹介します。

これらの企画展示を通して、本が人に寄り添いステイホーム中でも心身ともに健康でいられることを願ってやみません。【入江】

【10月の展示】

- ・笑わせます！
- ・社会福祉学科の世界を覗く（社会福祉学科展示）
- ・山口鶯流狂言展（郷土文学資料センター所蔵資料）



「2022 YPU Library Calendar」用フォトコンテスト開催中のお知らせ

2021年4月1日のグランドオープンを記念して作成した図書館オリジナルカレンダーを配布したところ、大変好評でしたので、来年度もカレンダーを作成することにしました。

来年度は、学生の皆さんが撮影した写真を掲載したカレンダーを作成します。現在、下記の要領で学生対象のフォトコンテストを開催中です。カレンダーに自分の撮影した写真を掲載してみませんか？

皆さんのご応募をお待ちしています！

1 募集テーマ：「図書と、その風景」

※撮影場所は、本学図書館に限定しません。

本学図書館内で撮影される場合は、カウンターまでお問合せください。

2 募集期間：2021年7月19日（月）～10月31日（日）

3 応募資格：山口県立大学学生

4 応募作品：一人1点 2021年4月1日以降に撮影した未発表の写真

最優秀賞1点（図書カード5,000円）、優秀賞2点（図書カード3,000円）、入選3点（図書カード1,000円）

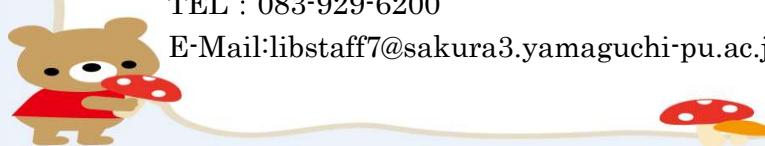
（応募者全員に参加賞として図書館オリジナルグッズをプレゼント！）

【お問合せ先】

担当：藤本・入江

TEL：083-929-6200

E-Mail:libstaff7@sakura3.yamaguchi-pu.ac.jp



あなたが撮った写真を
2022年度カレンダーに
載せよう!!
写真大募集！！

開催中!!

YPU Library Calendar
フォトコンテスト

図書館では、「2022 YPU Library Calendar」用の写真を
募集しています。図書館カレンダーに自分が載った写真が掲載
され、前賞として、図書カードなどを受けることができます。

撮影場所は、図書館内や飛び出して、山でも山でも自宅でも、
テーマに沿って自由に撮影してもらいます。
もちろん図書館内でもOK!

ふるるご応募ください

応募締切：2021年10月31日（日）必着

作品
募集
テーマ
「図書と、その風景」

応募についての詳細は、募集要項をご確認ください。
<https://www.yamaguchi-pu.ac.jp/4upal/?ct=14>

お問い合わせ 山口県立大学図書館 フォトコンテスト係
TEL:083-929-6200 E-mail:lib@sakura3.yamaguchi-pu.ac.jp

QRコード

↓募集要項 QR コード



開館カレンダー（2021年度後期）

2021年度後期（2021年10月から2022年3月）の図書館開館カレンダーです。

10月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

※■図書館休館日

編集後記

コロナ禍のため授業の多くがオンラインで行われ、大学や図書館に来る機会が減ったことと思います。この度、非来館者サービスとしてEZproxyを導入しました。学外から時間や場所の制約を受けずに、本学図書館が契約を行っている電子リソースを利用できるサービスです。コロナ禍はもちろん、コロナ終息後も積極的にご利用ください。【S】